

日 誌 (昭和35年10月)

【国内】

- 1日 ○本行、国際復興開発銀行債券(3,250千ドル)を引受け
○本行、商工組合中央金庫に歳入代理店を委嘱
- 7日 ○政府、最高輸出会議で35年度の輸出目標(通関ベース41億ドル、為替ベース38.4億ドル)を決定
- 8日 ○日本・ベネルックス通商協定調印
- 10日 ○東京、大阪、名古屋、神戸各手形交換所、不渡

届取扱制度の改正を実施

- 15日 ○本行、フランス共和国通貨表示外国為替引当貸付利率を引下げ(日歩1銭2厘を1銭へ)
- 17日 ○第36臨時国会召集
- 24日 ○衆議院解散
- 29日 ○本行、連合王国通貨表示外国為替引当貸付利率を引下げ(日歩1銭5厘を1銭4厘へ)
- 31日 ○コロombo計画会議開会(東京)

【海外】

- 1日 ○インド準備銀行、高率適用制度創設
- 3日 ○低開発国援助グループ(DAG)第3回会議、ワシントンにて開催(5日まで)
- 5日 ○ブラジル新大統領にジャニオ・クアドロス氏当選
- 6日 ○フランス銀行、公定歩合を4%から3.5%へ引下げ
○フランス、賦払信用規制緩和、特別準備制度創設(未実施)
- 14日 ○キューバ政府、約400の企業国有化に関する法律を布告
- 17日 ○GATT輸入制限協議会、ジュネーブにて開催
- 19日 ○米政府、対キューバ輸出を全面的に禁止
- 20日 ○ロンドン金市場価格暴騰(最高値1オンス40.60ドル)

○米財務省、現行金平価維持、金売却続行を声明

- 21日 ○香港、金相場急騰のため取引停止(22日まで)
- 23日 ○ニュージーランド政府、1961年輸入ライセンス発給計画を発表(民間輸入額は前年度並みの240百万NZポンド)
- 26日 ○米連邦準備制度理事会、支払準備率緩和の諸措置をとることを発表(一部は11月24日、一部は12月1日から実施)
○エル・サルバドルにおけるクーデター、政権奪取に成功
- 27日 ○英蘭銀行、公定歩合を6%から5.5%へ引下げ
○英国、IMF借入残額30百万ポンドを期限前完済
- 31日 ○GATT第17回総会、ジュネーブにて開催(3週間)